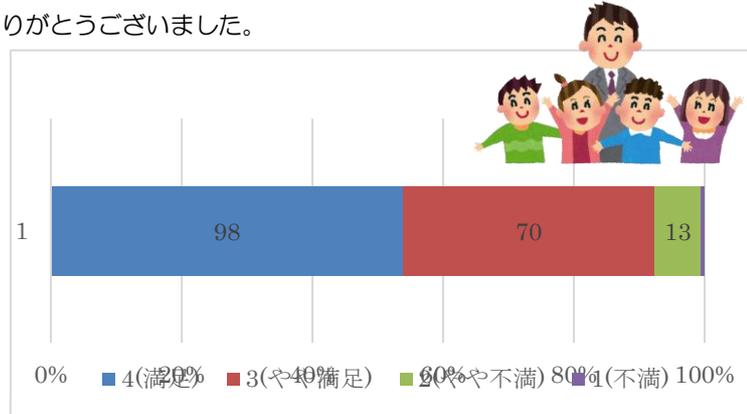


令和4年度 徹明さくら小学校 保護者アンケートの結果より

お忙しい中、保護者アンケートにご協力いただきありがとうございました。本年度は学年別運動会、信長まつり、イチヨウまつり、オータムコンサート等、これまでに比べていろいろな行事が実施できました。それでも、様々な制限や、安全を守るための規制や願いを重ねて、子供たちが笑顔で、「みんなのしあわせ」を求めて活動し始めたところです。そんな中で、建設的なご意見や、子供たちのために、学校ができることやすべきことを保護者の視点からご示唆いただき感謝申し上げます。結果は以下の通りですが(左の数字は昨年度のもので)、いただきました貴重なご意見を参考に、来年度の教育計画等を進めて行きたいと思っております。今後とも、お気づきの点があれば、子供のためにも学校にお知らせください。ありがとうございました。

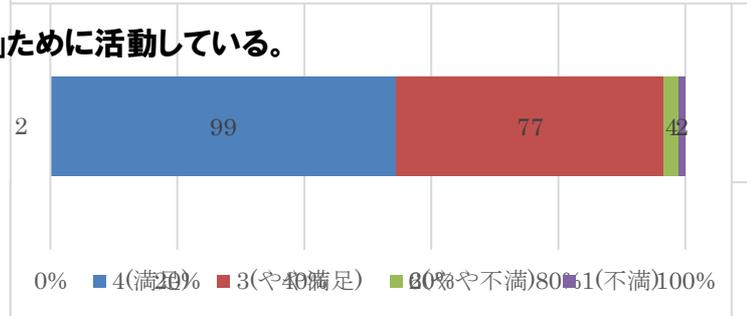
お子さんが毎日喜んで学校に登校できている。

よく取り組んでいる・満足	(52%)	53.8%
取り組んでいる・まあ満足	(41%)	38.5%
もう少し取り組んでほしい	(14人)	13人
取り組んでいない・不満	(2人)	1人



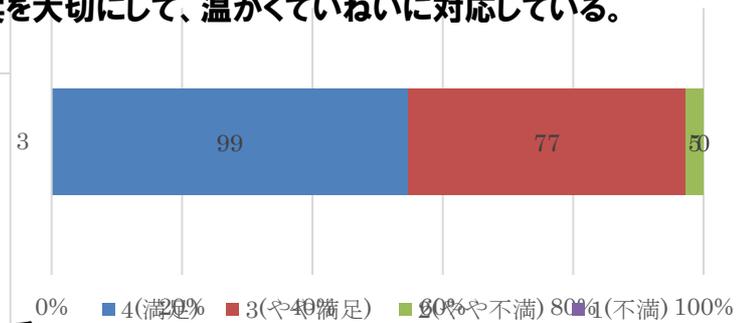
2. 学校は教育目標「自分とみんなのしあわせをつくる」ために活動している。

よく取り組んでいる・満足	(56%)	54.4%
取り組んでいる・まあ満足	(52%)	42.3%
もう少し取り組んでほしい	(5人)	4人
取り組んでいない・不満	(1人)	2人



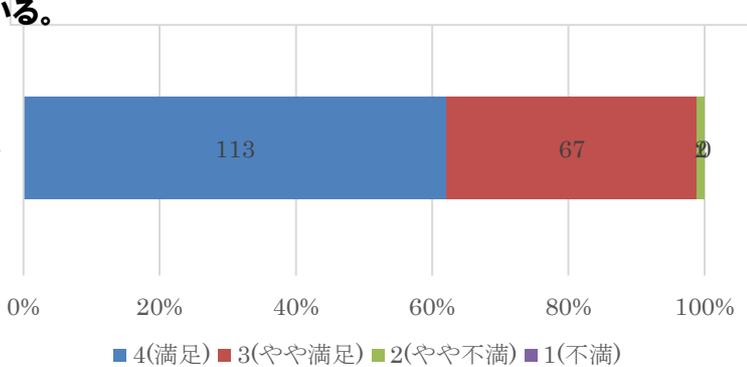
3. 学校はトラブルに対して素早く相談にのったり、事実を大切に、温かくていねいに対応している。

よく取り組んでいる・満足	(39%)	53.8%
取り組んでいる・まあ満足	(29%)	38.5%
もう少し取り組んでほしい	(11人)	5人
取り組んでいない・不満	(0人)	0人



4. 学校は児童の生命や安全を守るための配慮をしている。

よく取り組んでいる・満足	(69%)	62.1%
取り組んでいる・まあ満足	(30%)	36.8%
もう少し取り組んでほしい	(1人)	2人
取り組んでいない・不満	(1人)	0人



ここではアンケート項目の結果のみを掲載いたしましたが、結果の考察、今後の方針については近日中にホームページに掲載してまいります。また、いただいた多数のご意見を全て掲載することはできませんが、今後の学校経営に生かしてまいります。職員への励ましのお言葉も多数いただき、私たちの元気の源となりました。ありがとうございました。

今後とも、子供たちの「しあわせ」をつくりだす徹明さくら小学校をよろしくお願い致します。



1、お子さんが毎日喜んで学校に登校できている。

結果より

- ・ 3年間、新型コロナウイルス感染症の影響で、学校行事も変更を余儀なくされ、楽しみにしていた活動ができないことや制限もあり、「学校が面白くない」と感じるお子さんも少なくなかったと思います。少しでも笑顔が増えるように行事をできる範囲で実施したり、授業も工夫しながら楽しくできるように努めてきました。

今後の方針

- ・ 子供たちの安全を確保しながらも、子供たちの笑顔がさらに増える学校行事等の検討をすすめ、子供達の声に耳を傾けながら、心の成長も含めた育ちが楽しみにつながる学校のカリキュラムをつくりあげていきたいと思っています。学習も楽しく効果の上がるようなICTの活用も推進していきます。

2、学校は教育目標「自分とみんなのしあわせをつくる」ために活動している。

結果より

- ・ 「さくらりボーンプロジェクト」を実施し、EBのユニホームのデザインを児童より募集し、投票により決定し、自分たちの学校、EB、活動に自信と誇りを持つことができました。自分の思いや活動が「自分とみんなのしあわせをつくる」ことにつながることを実感し、「スクールプライド」をつくりあげました。

今後の方針

- ・ 自分の「しあわせ」、仲間の「しあわせ」を意識した活動をさらに充実させ、子供たちの成就感、達成感、有用感を育てていきたいと思っています。地域のボランティア等もできる環境を整えば、自分たちで決めて、実践し、よりよい方法を考え、次の日を楽しみにできるような指導をすすめていきます。

3、学校はトラブルに対して素早く、事実を大切に、温かく、ていねいに対応しようと努力している。

結果より

- ・ 誰もが「しあわせ」になれるように、トラブル等があればすぐに対応できるように複数の教員で聞き取りをし、事実を確かめ、納得できる解決をめざして取り組んでいます。事実の確認が難しく時間がかかることもありますが、客観的な事実をもとに指導し、解決後も子供たちの成長を励まし見守るよう努めています。

今後の方針

- ・ 事実の確認はしつつ、児童の思いにも耳を傾け、より丁寧で迅速な対応をすすめていきます。また、保護者にもより丁寧な説明をさせていただき、「これからどうするのか」を大切にしていきます。1月末より「ここタン」というアプリも活用し、子供たちの声にならない声にも留意していきます。

・

4、学校は児童の生命や安全を守るための配慮をしている。

結果より

- ・ 本年度は、全国学校健康づくり表彰において、全国で4校だけの最優秀学校賞を受賞しました。「歯の健康」「コロナに対する対応」「健康増進」「食育」等、総合的な審査を受けての受賞です。学校医の先生方、保護者の皆様の協力、子供たちの健康・安全に対する意識の高まりが受賞の大きな要因でした。子供たちが「自分で判断し、自分の命を守る」ことを目標に、実践してきました。

今後の方針

- ・ 来年度も子供たちが安全で安心して健全な生活がおくれるような教育をすすめていきます。コロナだけでなく自然災害、交通安全、体力づくりをはじめ、危機意識をもって自分の命を自分で守れるような指導を継続していきます。また「命の教育」を全教育活動を通じて行い、「命の大切さ・尊さ」を指導していきます。

5、教育課程特例校(英語科)編成の方針を受けて、児童は英語科を楽しんで取り組んでいるか

本年度も、1～2学年では、英語に慣れ親しむことをねらいとし、小学校第3～6学年においては、積極的にコミュニケーションを図る姿勢を育てられるよう外国人講師を招き授業を工夫してきました。例えば、4年生では自分でオリジナルのピザの絵を描いて、その具などを説明しながら外国人講師が食べたくなるような呼びかけをたり、3年生では柳ヶ瀬探検で見つけた地域の特色を自分なりにまとめて、写真と共に英語で案内できる練習をするなど、英語を使う活動、できる限り必然性のある場면을工夫し、楽しみながら取り組む学習を行いました。

今年聞かれた保護者の言葉には、「コロナで旅行にもなかなか行けない中、外国人講師の先生と話せると視野が広がって楽しそう。」「外国人講師の先生が面白いから、英語の時間が楽しみと言ってます。」などの声と共に、「英語が話せることに喜びを感じているようです」「英語に慣れるというのは大切なことなので、さらに充実させてほしい」といった声をいただいています。保護者からは高い評価をいただいているので、今後も外国人講師の支援を受けながら、コミュニケーション能力の育成をめざして取り組んでまいります。

来年度は、会話活動もできるようになる予定ですので、岐阜市が推奨する「岐阜市を英語で紹介」「岐阜市の道案内」「岐阜市のおいしい店の紹介」といった相手意識をもった活動を企画してきたいと思います。また、ブラジルのカンピーナ市とは岐阜市が姉妹都市提携をしている関係で、リオ・ブランコ学園と絵画の交流などを行っています。ここでも外国の文化を知ると同時に、英語をはじめ、言語活動にも興味をもってもらいたいと考えています。